

新旧対照表

変更前	変更後								
<p>第1章、第2章 (略)</p> <p>第3章 環境負荷低減事業活動などの促進に関する事項</p> <p>1、2 (略)</p> <p>3 特定区域及び特定環境負荷低減事業活動の内容に関する事項</p> <p>今後、現場の実態を踏まえつつ、市町村と連携して、モデル的な取組の創出に向けた特定区域の設定を推進します。</p> <p>4～6 (略)</p>	<p>第1章、第2章 (略)</p> <p>第3章 環境負荷低減事業活動などの促進に関する事項</p> <p>1、2 (略)</p> <p>3 特定区域及び特定環境負荷低減事業活動の内容に関する事項</p> <p><u>地域の関係者が一体となって、地域の未利用資源や先端技術などを活用しながら、農業生産に起因する環境負荷の低減を図るために設定する特定区域の区域と特定環境負荷低減事業活動の内容は別紙のとおりです。</u></p> <p>今後とも、現場の実態を踏まえつつ、市町村と連携してモデル的な取組の創出に向けた特定区域の設定を推進します。</p> <p>4～6 (略)</p> <p>(別紙)</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1133 762 2083 810">特定区域 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1133 810 1384 919"><u>区域</u></td> <td data-bbox="1384 810 2083 919"><u>湧別町福島地区</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1133 919 1384 1062"><u>特定環境負荷低減事業活動の概要</u></td> <td data-bbox="1384 919 2083 1062"><u>バイオガスプラントの余剰熱を施設園芸に活用した温室効果ガスの排出量の削減</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1133 1062 1384 1235"><u>活動の種類</u></td> <td data-bbox="1384 1062 2083 1235"><u>廃熱の回収利用その他の特定区域に存在する地域資源の活用により、温室効果ガスの排出の量の削減に資する農林漁業の生産活動</u></td> </tr> </tbody> </table>	特定区域 1		<u>区域</u>	<u>湧別町福島地区</u>	<u>特定環境負荷低減事業活動の概要</u>	<u>バイオガスプラントの余剰熱を施設園芸に活用した温室効果ガスの排出量の削減</u>	<u>活動の種類</u>	<u>廃熱の回収利用その他の特定区域に存在する地域資源の活用により、温室効果ガスの排出の量の削減に資する農林漁業の生産活動</u>
特定区域 1									
<u>区域</u>	<u>湧別町福島地区</u>								
<u>特定環境負荷低減事業活動の概要</u>	<u>バイオガスプラントの余剰熱を施設園芸に活用した温室効果ガスの排出量の削減</u>								
<u>活動の種類</u>	<u>廃熱の回収利用その他の特定区域に存在する地域資源の活用により、温室効果ガスの排出の量の削減に資する農林漁業の生産活動</u>								

	<u>区域の現状</u>	<u>基幹産業である酪農の規模拡大により、乳牛のふん尿処理のための農家負担が課題となったため、令和2年に「バイオマス産業都市構想」を策定。</u> <u>乳牛のふん尿等を原料としたバイオガスプラントで発電を行い、副産物である消化液を肥料として利用するとともに、固形分を再生敷料として利用することとしています。</u>
<u>活動の具体的内容及び目標</u>	<u>上記バイオガスプラントに園芸施設を併設し、プラントから発生する余剰熱を活用して園芸作物を栽培することで、温室効果ガスの排出削減と高収益作物生産を両立したモデルの構築を目指します。</u>	